

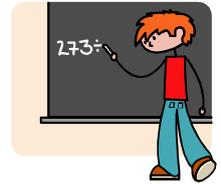


第1回県サ連定期総会開催のお知らせ

第1回県サ連定期総会を以下の通り、開催致します。

日 時：平成19年9月30日（日） 13:00～

場 所：静岡市中央福祉センター大会議室



1年をかけ、事務局会議及び委員会の開催を行い、アンケート調査を続けてきました。その中で決定しました事項について定期総会にて議事に図ります。

事前に県内手話サークル会長宛に定期総会資料及び賛同書（加盟申込書）を周知する予定です。お忙しいと思いますが、万障繰り合わせの上、ご参加ください。

* 分担金は、各サークル一律500円とし、地域サ連単位で納入していただく形となります。

東部地域のサ連立ち上げについて

東部手話サークル連絡会準備会（詳細は第4号参照）と県サ連事務局で会議を開催し、東部地域にてアンケート調査や地区（東部・伊豆・富士）別での話し合い及び全体会（6/23）を開催してきました。

東部地域には旧東サ連に加盟していなかったサークルも多く、「サ連ってなに?」「通研があるから…」という意見が多くありました。

また、サ連の必要性を感じるというサークルも多い中、「財政面」「人材面」で不安を感じるサークルがほとんどでした。

東部の地域性を考慮しながら、それぞれのサークル活動が継続できる形での立ち上げを進めていきたいと考えています。

6月～7月の報告・予定

- 6/25 東部地域話し合い：三島市
- 6/26 伊豆地域話し合い
- 6/2 県サ連事務局会議：情報センター
- 6/23 東部サークル話し合い（全体）：三島市
- 6/24 西サ連定期総会：菊川市
- 7/14 県サ連事務局会議：静岡市



県サ連事務局会議にて、『手話サークルが地域との関わり（市民との窓口的役割）を放棄したらどうなるのか?』を話し合ってみました。市（町）職員や市社協職員、V連会員等が聞こえない人の暮らしや不安を熟知しているのでしょうか？

話し合いの結果、『やはり、地域での聞こえない人の理解者は、手話サークル会員である』ということとまとまりました。「専門家」は言い過ぎ?かも知れませんが、「手話サークル会員が地域での活動をやめてしまったら…」、「学ぶ事をやめてしまったら…」その地域での聞こえない事への理解は広まらないでしょう。

手話サークルは、手話関係者だけのものではなく、地域にとつても、市民にとつても大切な場所であるのではないのでしょうか？

「県サ連」コラム



編集後記

県サ連立ち上げや東部地域サークルアンケート、県サ連説明会などで、県サ連に対する意見を数多く、頂きました。是非、県内手話サークル会員方に目を通して頂きたいのですが、印刷や郵送代等に莫大な費用がかかってしまいます。そのため、現在、県サ連ホームページ立ち上げや静聴協ホームページに掲載していただくか?と検討・協議中です。

* 不明点等は、県サ連事務局長宛（T/F054 - 257 - 6507 メール: gochan@tokai.or.jp）にご連絡ください。

